

⑥9大阪・関西万博における万博TDMの取組

受賞機関 大阪府・大阪市 万博推進局

キーワード 大阪・関西万博、来場者輸送対策、交通混雑緩和、TDM

全建賞審査委員会の評価ポイント

万博開催期間中の一般交通の抑制・分散・平準化を目的に、大阪府・大阪市・博覧会協会・経済界等が連携し、万博TDMの取組への協力を働きかけ、会期前に実施したトライアルによる課題抽出と改善を経て、取組に賛同した府県市民・企業の協力により、万博会期を通して円滑な来場者輸送と都市活動の両立に寄与した点が評価された。

1. はじめに

大阪・関西万博開催期間中（令和7年4月13日～10月13日）における万博来場者の安全かつ円滑な移動と都市活動を両立させることを目的に、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針」が策定された。

同方針では、来場方法のほか、輸送供給拡大対策、来場需要平準化対策及び輸送円滑化対策等が定められたが、これらの対策を実施しても交通上の課題が解消されないことから、一般交通を抑制・分散・平準化する「万博TDM」の取組が位置付けられた。

TDMの達成目標

鉄道：万博会場に直接乗り入れる唯一の路線となるOsaka Metro中央線において、平日午前8時台～10時台の平均混雑率120%以下
道路：阪神高速道路において、通常時の平日午前中の最大渋滞長を超えない

2. 事業の概要

万博TDMの推進体制として、大阪府・大阪市・博覧会協会・経済界等が連携し、企業や府県市民等の交通利用における行動の変容を促す取組を検討・調整する場として「2025年大阪・関西万博交通円滑化推進会議」を設立した。

同会議では、万博TDMの取組期間を、「混雑が予想される6月、8月盆明け～9月末まで」、「非常に混雑が予想される10月」の平日とすることを確認した。また、企業等への働きかけとして、鉄道の車内や駅構内、関係団体所有施設でのポスター掲示、SNSによる発信に加え、会期終盤には、TVCM等を活用し、広報を強化することを確認した。さらに、企業がTDMに取り組むための仕組みとして「万博TDMパートナー登録制度」を構築するとともに、万博会期中のTDMの実効性を高めるため、万博会期前に試行（トライアル）を実施することとした。

トライアルでは、中央線のコスモスクエア駅等における降車人数が減少し、TDMによる鉄道利用者数の低減効果を確認できた。一方で、「万博TDMパートナー」の登録数が低い水準にあったため、本番に向けた登録促進

の取組として、万博テストランへの招待や出前授業等のインセンティブを設けるとともに、中央線沿線主要集客施設に対し、TDMへの協力を改めて働きかけた。

3. 事業の成果

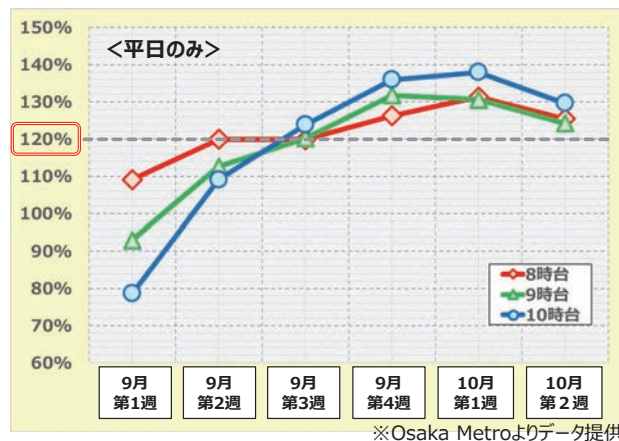
Osaka Metro中央線では、万博TDMの取組期間である6月及び8月は目標を達成した。一方で、会期終盤の9月中旬以降は、交通機関分担率の上昇や来場時間を前倒しする来場者の急増等の影響により、平均混雑率120%を超過したが、万博TDMの効果もあり、大きな混乱なく万博来場者輸送を実施できた。

阪神高速道路では、渋滞長が目標を超過する日があったものの、全線の利用台数に顕著な変化は見られず、渋滞状況も万博開催前と比べて大きく変化しなかった。

また、万博TDMパートナーへのアンケートでは、「時差出勤による通勤負担の軽減・生産性向上、取引先や顧客との業務連携の円滑化といった効果を実感できた」、「各種TDMの取組については、万博閉幕後も継続的に実施する」といった肯定的な意見も寄せられた。

	8時台（平均）	9時台（平均）	10時台（平均）
TDM取組前【5/26～5/30】	120%	114%	101%
TDM取組週【6/2～6/30 平日】	107%	103%	82%
【8/18～8/29 平日】	101%	87%	74%
【9/1～9/30 平日】	119%	114%	112%
【10/1～10/10 平日】	130%	129%	133%

区間混雑率（弁天町→朝潮橋駅）



会期終盤における弁天町→朝潮橋駅区間混雑率の推移

4. おわりに

TDMの効果をより高めるためのポイントとして、官民一体となった検討体制の構築、協力を促進するための魅力的なインセンティブの設定、各企業がTDMに取り組むための十分な準備期間の確保等が重要である。